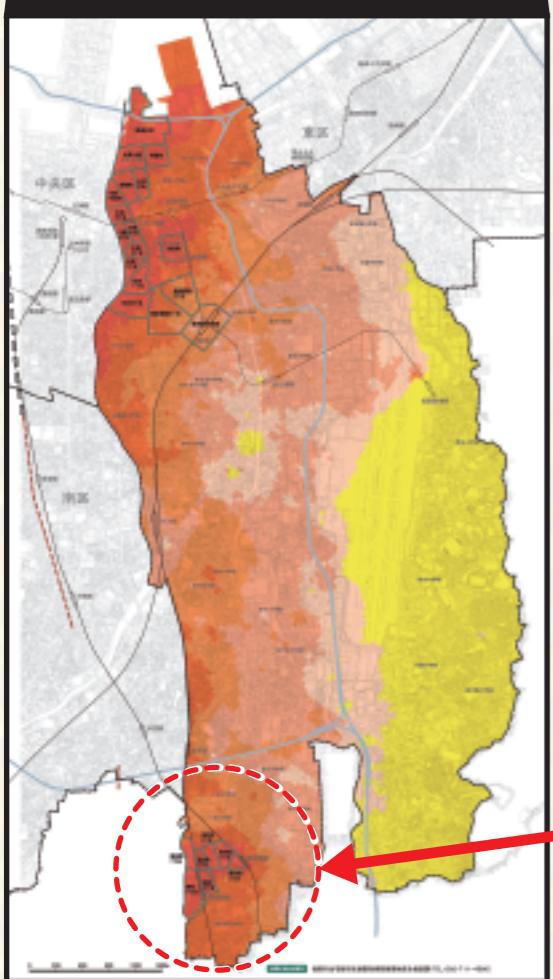


皆さん、備えてますか？

13年前の2005年3月20日、福岡県西方沖地震が発生し、マグニチュード7.0という大きな揺れを感じました。その一ヶ月後、マグニチュード5という大きな余震もありました。それから12月末までに405回の余震が繰り返し発生しています。最近は落ち着いていますが、いつ地震が発生してもいいように備えましょう！

福岡市の地震揺れやすさマップをご覧ください。これは西方沖地震よりも被害が大きくなると言われている警固断層帯南東部を震源とした地震が発生した時の揺れを色で表しています。濃い赤色の方が揺れが大きいことを表しています。博多区では中洲辺りと、私が住んでいる雑餉隈地区が濃い赤で表示されています。私の自宅も食器棚など倒れないような対策を何もしておりませんし、3日間過ごせる防災グッズも用意していません。皆様、今の内に再点検して備えましょう！

博多区揺れやすさマップ



【揺れやすさマップとは】

揺れやすさマップとは、地盤の状況とて起こりうる地震の両面から地域の揺れやすさを震度として評価し、住民自らがその居住地を認識可能な食尺で詳細に表現したもの（地震防災マップ作成技術資料（内閣府 平成17年3月）により）。

この揺れやすさマップは、福岡県西方沖地震よりも被害が大きくなると言われている警固断層帯南東部を震源とする地震が発生した場合、あなたの住まいの地域がどのくらい揺れるのかを強さ別（震度別）に色分けをして分かりやすくした地図です。

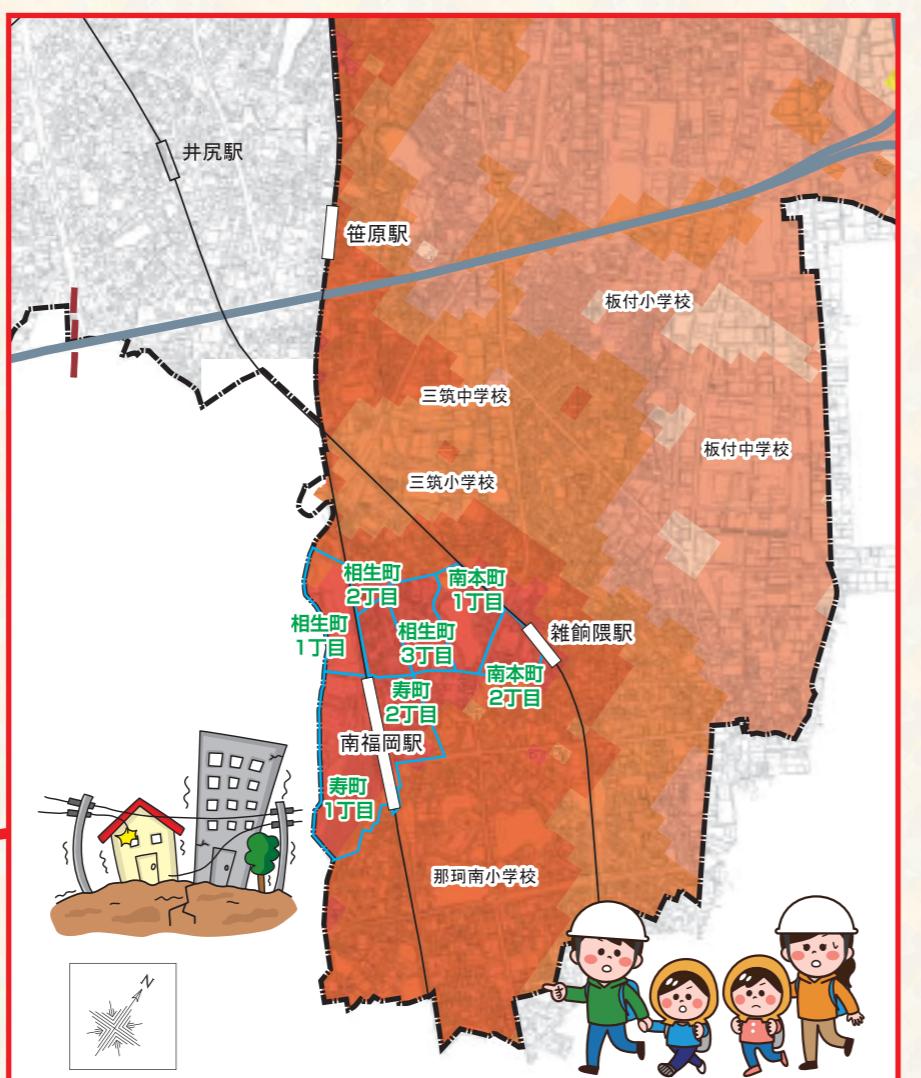
あなたの住まいの地域が、どれくらいの揺れの強さになるのかを確認してみましょう。

*この地図に示している揺れの強さは、伝定した震源や地震規模に基づくものであるため、地震の発生の仕方（一や振幅）によって、揺れの強さはこれより強くなったり弱くなったりすることがあります。

警固断層の長期評価

△断層の長さ	約27km
△断層のタイプ	左横ずれ断層（左横ずれ 2m程度）
△過去の活動時期	約4,300～3,400年前
△平均活動間隔	約8,900～7,400年前
△地震の規模	マグニチュード7.2
△地震発生確率（今後30年内）	0.6～6%

*文部科学省地震調査研究推進本部 平成19年3月発表



凡例	計測震度	震度階級	状況
■	~4.9	5弱	棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
■	5.0～5.4	5強	補強されていないブロック壁の多くが崩れる。
■	5.5～5.9	6弱	耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。
■	6.0	6強	
■	6.1		
■	6.2		
■	6.3		
■	6.4～		

お問い合わせ窓口
福岡市住宅都市局建築指導部建築物安全推進課
(TEL. 092-711-4580)

凡 例	状 態
---	活断層（位置やや不明確）
— —	警固断層帯南東部
— — —	推定活断層（地下）
□	警固断層に着目した建築物の耐震対策（条例化）区域 (福岡市建築基準法施行条例第6条の2の別表第1の区域) ※この揺れやすさマップに記載している警固断層帯南東部の位置は、国土地理院発行の1/2.5万土地条件図「福岡」(2006/7)から転写したものである。

あなたのご意見をお聞かせください。 Tel.092-501-0210 Fax.092-501-0222
E-mail gogotaro0410@yahoo.co.jp
<https://hamasakitaro.com>

浜崎太郎

検索



地域政党「みらい・無所属の会」
福岡市議会議員
浜崎太郎のイキイキ情報

Vol.19

地域の皆様に役立つ情報を配信【市議会レポート】

注目
願います！

筑紫通りの跨線橋（西鉄電車の線路の上を通る橋）が撤去され、踏切の道路に変わります。混雑が予想されます！

西鉄天神大牟田線の高架事業も進んでいます。さざんぴあ博多横の跨線橋が年明けに通行止になり、解体作業に入ります。それからは約2年間、皆さんの通行は、仮の道路が跨線橋のすぐ横にできますので、新しく設置された踏切を通って線路を横断いただく事になります。当然、朝夕のラッシュ時は渋滞が考えられますので、お時間を考えながらご通行お願いします。将来的には、西鉄電車が高架となり、その下を道路が走ります。抜け道も注意してください。通学路ですので、しっかり時間を取ってご出発をお願いします。



会派名が変わりました。

新しい会派名「みらい・無所属の会」となりました。

無所属議員だった 西区選出の天野こう議員（右写真の右から二番目）が5月に我が会派に合流したことで名称変更となりました。天野議員は日本維新の会所属の議員ですが、我が会派の基本方針と合致する部分が多いということで一緒に活動することになりました。

*今年の2月に同僚の三角公仁隆議員がご逝去され4名でしたが、5名になりました。

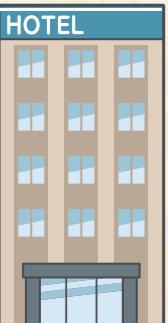


板付基地返還促進協議会の
事務局長に就任いたしました。

福岡市内には、以前よりアメリカ軍の所有の土地と施設が数カ所ありました。この協議会で、返還を願う活動を続けてきましたおかげで、昭和52年に雁ノ巣基地の全面返還の合意がなされ、現在の海の中道海浜公園となっています。脊振山の通信施設は平成28年に全面返還されました。東平尾公園も昭和35年から順次返還されて現在に至っています。今、残っている米軍施設は、福岡空港の敷地の一部のみとなりました。今後は事務局長として、空港内の敷地の早期返還を求め、外務省や総務省の協力の下、窓口である米軍横田基地へ陳情活動していきます。

主要4会派で構成する
条例勉強会の副座長として

宿泊税に関する観光振興条例を提案し議会で可決しました。福岡市の観光客数は近年急激に増加しています。今ではホテルの建設も増え、観光産業で多くの市民が働き収入を得ています。しかしながら、増大する社会保障にかかる費用のため、観光施策に当たられる予算は年々減らされています。そのため、宿泊税を制定し、その収入は観光に特化して使用されるものにします。



〈福岡市議会議員〉地域政党「みらい・無所属の会」所属
浜崎太郎事務所
Tel.092-501-0210 Fax.092-501-0222
〒812-0882 福岡市博多区麦野5-2-27

